

千葉市立郷土博物館のあり方（中間報告）の概要

めざす博物館像	基本方針	事業計画（☆は重点項目）
<p>市民・利用者が集い、 千葉市を愛し、誇りとする 拠りどころが得られる 博物館をめざす。</p>	<p>1 市民に「開かれた」博物館</p> <p>郷土博物館における歴史体験を通じて、本市への誇りと愛着を育む。 市史編さん事業とも連携し、地域や全国に散在する千葉市に関する資料を調査し、研究を進める中心的な役割を果たす。 国際化に対応した館内案内、説明を工夫する。</p>	<p>☆ (1)情報の発信と広報の充実</p> <p>(2)教育普及の充実</p> <p>☆ (3)ボランティア活動への支援</p> <p>(4)パークマネジメントなどへの挑戦</p>
<p>千葉氏に関する情報や 千葉市の文化の特徴を明らかにし、 地域の発展に役立つ拠点となる 博物館をめざす。</p>	<p>2 千葉氏などの歴史資料の次世代へ「継承する」博物館</p> <p>千葉氏に関する研究機関として資料調査、集積などを進める。 市民に対して伝統文化を体験するための機会を提供し、貴重な文化財を未来に継承する。</p>	<p>(5)常設展、企画展の活性化</p> <p>☆ (6)文化財の管理と次世代への継承</p> <p>(7)収蔵品の貸借、保有資産の有効活用</p>
<p>新たな調査・研究を提案し、 その成果を発信する 博物館をめざす。</p>	<p>3 学芸員等の活動が「見える」博物館</p> <p>ボランティアをはじめ、市民参加による郷土博物館の企画・運営を積極的に推進し、市民が自分の住む地域の歴史を大切に、体験講座・歴史案内などを通して学んでいけるよう貢献する。 児童生徒や市民が郷土博物館で本物の歴史資料に触れ、歴史を体験することにより、学校・生涯教育の場で提供される学びとは異なる「新たな学びと遊び」の場を創出する。 学校教育との密接な連携を図り、郷土博物館における体験が有効に働くよう配慮する。</p>	<p>☆ (8)基礎的・探究的な調査研究成果の発信</p> <p>(9)研究交流の実施</p> <p>(10)運営の効率化</p> <p>(11)施設の環境整備、環境の向上</p>